令和5年度　第3学年　社会科　公民的分野　年間指導計画

担当:山根亜加利

学期	項目 （◎ 学習課題）	学習内容・ 学習活動	指導上の留意点	評価規準の具体例 ①＝知識・技能　②＝思考・判断・表現 ③＝主体的に学習に取り組む態度
第1部　現代社会				
	第1章 **現代社会と文化** **■章の問い■　現代日本の社会と文化にはどのような特色があるのだろうか。**	＜第1部第1章のねらい＞ 位置や空間的な広がり，推移や変化などに着目して，課題を追究したり解決したりする活動を通して，次の資質・能力を身に付けることができるようにさせる。 ①現代日本の特色として少子高齢化，情報化，グローバル化などが見られることについて理解する。また，現代社会における文化の意義や影響について理解させる。 ②少子高齢化，情報化，グローバル化などが現在と将来の政治，経済，国際関係に与える影響，文化の継承と創造の意義について多面的・多角的に考察し，表現させる。 ③私たちが生きる現代社会と文化の特色について，現代社会に見られる課題の解決を視野に主体的に社会に関わろうとさせる。		**＜第1部第1章の評価規準＞** ①現代日本の特色として少子高齢化，情報化，グローバル化などが見られることについて理解している。 ①現代社会における文化の意義や影響について理解している。 ②位置や空間的な広がり，推移や変化などに着目して，少子高齢化，情報化，グローバル化などが現在と将来の政治，経済，国際関係に与える影響について多面的・多角的に考察し，表現している。 ②位置や空間的な広がり，推移や変化などに着目して，文化の継承と創造の意義について多面的・多角的に考察し，表現している。 ③私たちが生きる現代社会と文化の特色について，現代社会に見られる課題の解決を視野に主体的に社会に関わろうとしている。
	第1節 **現代社会の特色** **◇節の問い◇　情報化，グローバル化，少子高齢化は私たちの生活にどのような影響を及ぼしているのだろうか。**	＜第1節のねらい＞ 情報化，グローバル化，少子高齢化が現在と将来の政治、経済、国際関係に与える影響について，位置や空間的な広がり，推移や変化などの見方・考え方を働かせて，多面的・多角的に考察し，表現させる。		**＜第1節の評価規準＞** ①現代日本の社会では情報化，グローバル化，少子高齢化など変化がみられることを理解し，その知識を身につけている。 ②情報化，グローバル化，少子高齢化が現在と将来の政治，経済，国際関係に与える影響について，位置や空間的な広がり，推移や変化などの見方・考え方を働かせて，多面的・多角的に考察し，表現している。 ③情報化，グローバル化，少子高齢化に関する事象を身近なところから見つけ，主体的に問題解決しようとしたり，よりよい社会を考え学習したことを社会生活に生かそうとしている。
３年１学期	**＊学習の前に** 40年前と今の社会を比較してみよう **1　情報化が進む現代** ◎情報化のさらなる進展は，わたしたちの生活にどのような影響をもたらすのだろうか。	情報化のさらなる進展は，私たちの生活にどのような影響をもたらすかを考える。	高度情報通信ネットワーク社会の到来により，世界中の人々と瞬時にコミュニケーションをとることが可能になったことや，さまざまな情報が公開，発信，伝達されている状況であることを理解させる。	①情報化によるさまざまな変化を表す資料を収集し，適切に活用して，現代社会の特色として情報化がみられることを理解し，その知識を身につけている。 ②大量の情報の活用によって，社会がどのような変化したかを考え，自分の言葉で説明している。
	2　グローバル化が進む現代 ◎グローバル化は私たちの生活にどのような影響をもたらすのだろうか。	グローバル化は私たちの生活にどのような影響をもたらすかを考える。	現代社会では大量の資本や人，商品などが国境をこえて容易に移動できるようになっていることを理解させる。	①身のまわりにあるグローバル化の事例を見つけ出すことを通して，現代日本の特色としてグローバル化がみられることを理解し，その知識を身につけている。 ②グローバル化が将来の日本の社会にもたらす影響を考えるとともに，持続可能な社会をつくるという観点から世界各国の相互協力について考え、自分の言葉で説明している。
	3　少子高齢化が進む現代 ◎少子高齢化は，私たちの生活にどのような影響をもたらすのだろうか。 **◇節の問いを振り返ろう◇　情報化，グローバル化，少子高齢化が私たちの生活に及ぼす影響について，位置や空間的な広がり，推移や変化などに着目して説明してみよう。**	少子高齢化が進むと，私たちの生活にどのような影響をもたらすかを考える。 ◇情報化，グローバル化，少子高齢化が私たちの生活にどのような影響をもたらすか考える。	近年の少子化の進行と平均寿命の伸長によって，日本の人口構造が変化していることを理解させる。 ◇情報化，グローバル化，少子高齢化を自らの問題としてとらえさせ，これらによって起こる社会や生活の変化を理解させる。	①人口構造や今後の人口予測などの資料を収集し，適切に読み取ることを通して，現代日本の特色として少子高齢化と人口減少がみられることを理解し，その知識を身につけている。 ②少子高齢化が将来のわが国の社会にどのような影響をもたらすかを予測し，持続可能な社会という観点からその対策を考えて提案している。
	第2節 **私たちの生活と文化** **◇節の問い◇　なぜ日本の文化を知り，伝統文化を受け継ぐ必要があるのだろうか。**	＜第2節のねらい＞ 現代社会における文化の意義や影響を理解させるとともに，文化の継承と創造の意義について，位置や空間的な広がり，推移や変化などの見方・考え方を働かせて，多面的・多角的に考察し，表現させる。		**＜第2節の評価規準＞** ①わが国の伝統や文化に関する様々な資料を収集し，有用な情報を適切に読み取ることを通して，その意義や影響を理解し，その知識を身につけている。 ②現代社会における文化の意義や影響，文化の継承と創造の意義について，位置や空間的な広がり，推移や変化などの見方・考え方を働かせて，多面的・多角的に考察し，表現している。 ③わが国の伝統や文化について，自分の体験や身近な事例と結びつけて生活とのかかわりを考え，文化の継承と創造に積極的にかかわろうとしている。
３年１学期	**1　生活に息づく文化** ◎文化は私たちの生活とどのように関わっているのだろうか。	文化は私たちの生活とどのように結びついているかを考える。	科学では，技術革新によって豊かな生活が享受できるようになったこと，芸術では，感性豊かな人間性をはぐくみ文化的な生活を生み出す役割を担っていること，宗教では，その考え方が人々の生活に影響を与えていることを理解させる。	①世界の多様な文化に関する情報を収集し，適切に選択して，読み取ったり図表にまとめたりしている。 ②科学，芸術，宗教が人々の生活に与えている影響について考え，自分の言葉で説明している。
	2　日本の伝統と文化 ◎日本の文化はどのような特色があるのだろうか。また，私たちはどのように文化と関わっていけばよいのだろうか。 **◇節の問いを振り返ろう◇　文化を受け継ぎ，新たに創造していく意義を説明してみよう。**	日本の文化がどのように形づくられ，どのような特色があるのかを理解する。 ◇文化を受け継ぎ，新たな文化を創造することにどのような意義があるのか考える。	歴史的分野での学習成果を生かして，わが国の伝統や文化が外来文化や自然とのかかわりが深いことを理解させる。 ◇科学，芸術，宗教などの文化と社会生活との関わりを身近な事例からとらえさせ，文化によって豊かな生活を享受できていることを理解させる。	①歴史的分野での学習成果を生かして，日本人の心情やものの考え方の背景として外来文化や自然とのかかわりが深いことを理解し，その知識を身につけている。

	＊章の学習を振り返ろう **第1部第1章** **現代社会と文化** **■章の問い■　現代日本の社会と文化にはどのような特色があるのだろうか。**	章の学習で得た知識を確認し，章の問いへの答えを多面的・多角的に考える。	現代日本の社会と文化の特色について，位置や空間的な広がり，推移や変化などの見方・考え方を働かせて多面的・多角的に考えさせる。	**＜第1部第1章の評価規準＞** ①現代日本の特色として少子高齢化，情報化，グローバル化などが見られることについて理解している。 ①現代社会における文化の意義や影響について理解している。 ②位置や空間的な広がり，推移や変化などに着目して，少子高齢化，情報化，グローバル化などが現在と将来の政治，経済，国際関係に与える影響について多面的・多角的に考察し，表現している。 ②位置や空間的な広がり，推移や変化などに着目して，文化の継承と創造の意義について多面的・多角的に考察し，表現している。 ③私たちが生きる現代社会と文化の特色について，現代社会に見られる課題の解決を視野に主体的に社会に関わろうとしている。
第2章 **現代社会をとらえる枠組み** **■章の問い■　社会生活において，きまりにはどのような意義があるのだろうか。**	＜第1部第2章のねらい＞ 対立と合意，効率と公正などに着目して，課題を追究したり解決したりする活動を通して，次の資質・能力を身に付けることができるようにさせる。 ①現代社会の見方・考え方の基礎となる枠組みとして，対立と合意，効率と公正などについて理解させる。また，人間は本来社会的存在であることを基に，個人の尊厳と両性の本質的平等，契約の重要性やそれを守ることの意義及び個人の責任について理解させる。 ②社会生活における物事の決定の仕方，契約を通した個人と社会との関係，きまりの役割について多面的・多角的に考察し，表現させる。 ③現代社会を捉える枠組みについて，現代社会に見られる課題の解決を視野に主体的に社会に関わろうとさせる。		**＜第1部第2章の評価規準＞** ①現代社会の見方・考え方の基礎となる枠組みとして，対立と合意，効率と公正などについて理解している。 ①人間は本来社会的存在であることを基に，個人の尊厳と両性の本質的平等，契約の重要性やそれを守ることの意義及び個人の責任について理解している。 ②対立と合意，効率と公正などに着目して，社会生活における物事の決定の仕方，契約を通した個人と社会との関係，きまりの役割について多面的・多角的に考察し，表現している。 ③現代社会を捉える枠組みについて，現代社会に見られる課題の解決を視野に主体的に社会に関わろうとしている。
３年１学期	**1　社会的存在として生きる私たち** **◎私たちが生きていくうえで，意見が対立した場合，どのように解決すればよいのだろうか。**	私たちが生きていく上で，意見が対立した場合，どのように解決すればよいのかを考える。	人間は本来「社会的存在」であることに着目させ，人間は一人で生きているのではなく，さまざまな社会集団を形成し，その一員として生活していることを理解させる。	①p17「防災備蓄倉庫の新設を考えてみよう」を活用して，社会集団で意見が対立した場合に，合意を作り出すことによって問題が解決することを理解し，その知識を身に付けている。
	2　効率と公正 **◎意見が対立した場合，よりよい合意を作るための見方・考え方である「効率」「公正」とは，どのようなものなのだろうか。**	意見が対立したとき，よりよい合意をつくるための考え方である「効率」「公正」とは，どのような考え方なのかを理解する。	p19「防災備蓄倉庫の新設を考えてみよう」の事例について，効率，公正などの見方・考え方を働かせて，よりよい合意について考えさせる。	①合意の妥当性を判断する際に，無駄を省く「効率」と，決定の手続きや内容についての「公正」が必要であることを理解し，その知識を身につけている。 ②p19「防災備蓄倉庫の新設を考えてみよう」の事例について，合意を作り出すための方法を，効率，公正などの見方・考え方を働かせて，多面的・多角的に考察，構想し，表現している。
	3　私たちときまり **◎社会的存在である私たちは，社会集団の中できまりとどのように関わっていけばよいのだろうか。**	きまりが社会集団においてどのような役割をはたしているかを考える。	社会集団における問題の解決について，物事の決定の仕方や決定したことを「きまり」として守ることの意義を具体的・体験的な事例から考えさせる。	②物事の決定の仕方や決定したことを「きまり」として守ることの意義を多面的・多角的に考察，構想し，自分の言葉で説明している。
	＊アクティブ公民 **マンションの騒音問題を解決しよう**	マンションの騒音問題を解決するための方法を考える。	現代社会をとらえる見方や考え方の基礎としての「対立と合意」「効率と公正」に気付かせる。	①「マンションの騒音問題を解決しよう」について，さまざまの立場からの意見を整理して，A案とB案の長所や短所を整理してまとめている。 ②「マンションの騒音問題を解決しよう」について，みんなが納得できる合意をつくるための方法を考え，自分の言葉で説明している。
	＊章の学習を振り返ろう **第1部2章** **現代社会をとらえる枠組み** **■章の問い■　社会生活において，きまりにはどのような意義があるのだろうか。**	章の学習で得た知識を確認し，章の問いへの答えを多面的・多角的に考える。	社会生活のおけるきまりの意義について，対立と合意，効率と公正などの見方・考え方を働かせて多面的・多角的に考えさせる。	**＜第1部第2章の評価規準＞** ①現代社会の見方・考え方の基礎となる枠組みとして，対立と合意，効率と公正などについて理解している。 ①人間は本来社会的存在であることを基に，個人の尊厳と両性の本質的平等，契約の重要性やそれを守ることの意義及び個人の責任について理解している。 ②対立と合意，効率と公正などに着目して，社会生活における物事の決定の仕方，契約を通した個人と社会との関係，きまりの役割について多面的・多角的に考察し，表現している。 ③現代社会を捉える枠組みについて，現代社会に見られる課題の解決を視野に主体的に社会に関わろうとしている。
第2部　政治				
第1章 **日本国憲法** **■章の問い■　政治が日本国憲法に基づいて行われていることにはどのような意義があるのだろうか。**	＜第2部第1章のねらい＞ 対立と合意，効率と公正，個人の尊重と法の支配，民主主義などに着目して，課題を追究したり解決したりする活動を通して，次の資質・能力を身に付けることができるようにさせる。 ①人間の尊重についての考え方を，基本的人権を中心に深め，法の意義を理解させる。また，民主的な社会生活を営むためには，法に基づく政治が大切であること，日本国憲法が基本的人権の尊重，国民主権及び平和主義を基本的原則としていること，日本国及び日本国民統合の象徴としての天皇の地位と天皇の国事に関する行為について理解させる。 ②我が国の政治が日本国憲法に基づいて行われていることの意義について多面的・多角的に考察し，表現させる。 ③人間の尊重についての考え方や日本国憲法の基本的原則などについて，現代社会に見られる課題の解決を視野に主体的に社会に関わろうとさせる。		**＜第2部第1章の評価規準＞** ①人間の尊重についての考え方を，基本的人権を中心に深め，法の意義を理解している。 ①民主的な社会生活を営むためには，法に基づく政治が大切であることを理解している。 ①日本国憲法が基本的人権の尊重，国民主権及び平和主義を基本的原則としていることについて理解している。 ①日本国及び日本国民統合の象徴としての天皇の地位と天皇の国事に関する行為について理解している。 ②対立と合意，効率と公正，個人の尊重と法の支配，民主主義などに着目して，我が国の政治が日本国憲法に基づいて行われていることの意義について多面的・多角的に考察し，表現している。 ③人間の尊重についての考え方や日本国憲法の基本的原則などについて，現代社会に見られる課題の解決を視野に主体的に社会に関わろうとしている。
第1節 **民主主義と日本国憲法** **◇節の問い◇　民主社会ではなぜ法に基づく政治が大切なのだろうか。**	＜第1節のねらい＞ 小学校社会科の学習との円滑な接続を図り，法に基づく政治の大切さについて，対立と合意，効率と公正，個人の尊重と法の支配，民主主義などの見方・考え方を働かせて，多面的・多角的に考察し，表現させる。		**＜第1節の評価規準＞** ①法の意義と法に基づく政治の大切さ，日本国憲法の原則，天皇の地位と国事行為について理解し，その知識を身に付けている。 ②民主的な社会生活にかかわる様々な事象から学習課題を見いだし，対立と合意，効率と公正，個人の尊重と法の支配，民主主義などの見方・考え方を働かせて，多面的・多角的に考察し，表現している。 ③民主的な社会生活にかかわる様々な事象をもとに，よりよい社会を考え学習したことを社会生活に生かそうとしている。

3年2学期	**＊学習の前に** **私たちの暮らしと憲法の関係を見てみよう** **1　民主主義と立憲主義** **◎立憲主義とはどのようなしくみで，それを実現していくためにはどのような取り組みが必要なのだろうか。**	民主主義とはどのようなしくみで，それを実現するためにどのような取り組みが必要なのかを考える。	p29「未来に向けて」の事例を活用して，民主主義を身近にとらえさせ，多数決の原理と少数意見の尊重という考え方を理解させる。	②民主主義とはどのようなしくみかを考え，民主主義の実現における立憲主義の意義について自分の言葉で説明している。
	2　人権保障と法の支配 **◎民主主義と人権の保障は，どのような歴史過程をたどって実現してきたのだろうか。**	民主主義と人権の保障は，どのような歴史過程をたどって実現してきたのかを理解する。	歴史的分野の学習成果を生かして，基本的人権の理念が人類の多年にわたる努力の結果であること，法の支配により人権が守られることを理解させる。	①歴史的分野での学習をもとに，人権獲得の歴史に関する資料を収集し，適切に選択して分類したり，図表などにまとめたりしている。
	＊アクティブ公民 **みんなで決めるとはどういうこと？**	民主主義における決定の方法について考える。	効率と公正などの見方・考え方に着目して，多数決の効果的な活用方法について選択・判断させる。	②民主主義における公正な決定の方法について，多面的・多角的に考察し，表現している。
	3　日本国憲法の成立 **◎日本国憲法はどのように成立したのだろうか。**	大日本帝国憲法がどのような経緯で日本国憲法へと改正されたのかを理解する。	ｐ36図４を活用して，大日本帝国憲法と日本国憲法の内容を比較することを通して，日本国憲法により人権保障の制度が確立したことを読み取らせる。	①日本国憲法と大日本帝国憲法を比較した資料などから，日本国憲法の特色を読み取りまとめている。 ②歴史的分野の学習を生かして，日本国憲法へと改正された歴史的背景について，多面的・多角的に考察し，その過程や結果を適切に表現している。
	4　国民主権 **◎国民が主権を持つとは，どのようなことなのだろうか。**	国民が主権を持つとはどのようなことなのかを理解する。	国の政治を最終的に決定する権限が国民にあり，議会制民主主義においては，その権力が国民の代表者によって行使されることを理解させる。	①国民主権の原則の下での国民としての政治参加のあり方や象徴としての天皇の地位について理解し，その知識を身につけている。
	5　日本の平和主義 **◎日本国憲法では，平和主義をどのように定めているのだろうか。** **◇節の問いを振り返ろう◇　法に基づく政治が大切である理由を「国家」という言葉を用いて説明してみよう。**	日本国憲法では，平和主義をどのように定めているかを理解する。 ◇民主的な社会生活を営むたうえで，なぜ法に基づく政治が大切なのかを考えさせる。	平和主義について理解させるとともに，自衛隊や国際貢献のあり方についての議論があることを認識させる。 ◇対立と合意，効率と公正，個人の尊重と法の支配，民主主義などの見方。考え方を働かせて考えさせる。	①日本国憲法の前文や第９条から，平和主義をどのように定めているかを読み取りまとめている。 ②日本の平和主義や自衛隊のあり方について，多面的・多角的に考察し，表現している。
第2節 **基本的人権の尊重** **◇節の問い◇　日本国憲法では，なぜ基本的人権が保障されているのだろうか。**		＜第2節のねらい＞ 基本的人権を中心とした人間の尊重についての考え方を理解させるとともに，日本国憲法で基本的人権が保障されていることの意義について，多面的・多角的に考察し，表現させる。		**＜第2節の評価規準＞** ①基本的人権を中心とした人間の尊重についての考え方を理解し，その知識を身に付けている。 ②基本的人権を中心とした人間の尊重についての考え方と法との関連について，個人の尊重の視点から多面的・多角的に考察し，その過程や結果を適切に表現している。 ③人間の尊重についての考え方を踏まえて，よりよい社会を考え学習したことを社会生活に生かそうとしている。
3年2学期	**1　個人の尊重と憲法上の権利** **◎日本国憲法では，基本的人権の尊重をどのように保障しているのだろうか。**	日本国憲法では，基本的人権をどのように保障しているかを理解する。	日本国憲法で基本的人権が保証されていることの意義について，個人の尊重の視点から理解させる。	①日本国憲法では基本的人権をどのように保障しているかについて理解し，その知識を身につけている。 ②個人の尊重の実現には基本的人権が保障されることが必要である理由について多面的・多角的に考察し，表現している。
	2　自由権 **◎日本国憲法では，自由権をどのように保障しているのだろうか。**	日本国憲法では，自由権をどのように保障しているかを理解する。	歴史的分野の学習を生かして，日本国憲法制定の前と後では，自由権の保障はどのように変化してきたかを理解させる。	①精神の自由，生命・身体の自由，経済活動の自由について理解し，日本国憲法から自由権について定めている条文を見つけだし，分類・整理している。
	3　平等権と差別されない権利 **◎日本国憲法では，平等権をどのように保障しているのだろうか。**	日本国憲法では，平等権をどのように保障しているかを理解する。	p45図１をもとに日常の具体的な事例から，平等のあり方について理解させる。	①日本国憲法から平等権について定めている条文を見つけだしまとめている。 ②p46「夫婦別姓の議論」について，夫婦別姓に対する自分の立場を決め，意見交換を通して考えを深めようとしている。
	4　日本社会の差別の現実 **◎現代社会に残る偏見や差別をなくすために，どのような取り組みが求められているのだろうか。**	現代社会に残る偏見や差別をなくすために，どのような取り組みが求められているかを考える。	現代社会にはアイヌの人々への差別，在日外国人への差別，障がいがある人への差別，病気への偏見などさまざまな偏見や差別が残っていることに気付かせる。	②障害のある人への差別をなくすためのバリアフリー化について，多面的・多角的に考察し，表現している。
	5　社会権 **◎日本国憲法では，社会権をどのように保障しているのだろうか。**	日本国憲法では，社会権をどのように保障しているかを理解する。	歴史的分野の学習を生かして，基本的人権として社会権が認められてきた歴史的背景を理解させる。	①日本国憲法で保障されている社会権の内容について理解し，日本国憲法から社会権について定めている条文を見つけだしまとめている。
	6　政治に参加する権利と人権を守るための権利 **◎人権を守るために，日本国憲法ではどのような権利を保障しているのだろうか。**	人権を守るために，日本国憲法ではどのような権利が保障されているのかを理解する。	国民として果たすべき三大義務と公共の福祉による基本的人権の制限についても理解させる。	①人権を守るために保障されている権利と，国民の三大義務および公共の福祉による制限について理解し，日本国憲法から人権を守るための権利について定めている条文を見つけだしまとめている。 ②大切な人権を守るために，社会の一員としての自らのあり方を考え，自分の意見を表現している。
	7　これからの人権を考える **◎社会の変化に伴って，どのような人権の保障が求められているのだろうか。** **◇節の問いを振り返ろう◇　基本的人権の保障が大切な理由を「個人の尊重」という言葉を用いて説明してみよう。**	社会の変化に伴って，どのような人権が新たに求められているのかを理解する。 ◇個人の尊重を実現するために，なぜ基本的人権が保証されなければならないのかを考えさせる。	社会の変化にともなって人権の考え方が広がり，憲法に規定されないことがらについても権利が保障されてきていることを理解させる。 ◇個人の尊重の視点から，基本的人権を中心とした人間の尊重という考え方について理解させる。	①日本国憲法第13条の幸福追求権をもとに，法律で新たに認められるようになった人権について内容を理解し，その知識を身につけている。
	＊アクティブ公民 **青果店を営む男性はどうなる？**	権利を巡る対立からよりよい合意に至る方法を考える。	効率と公正の見方・考え方を働かせて，個人の尊重と公共の福祉の対立から合意に至る方法を選択・判断させる。	①青果店の立ちのきについて，さまざまの立場からの意見の長所や短所を整理してまとめている。 ②青果店の立ちのきについて，効率と公正などの見方・考え方を働かせて，対立から合意に至る方法を多面的・多角的に考察し，自分の立場を明確にして説明している。
第3節 **法の支配を支えるしくみ** **◇節の問い◇　日本国憲法では，なぜ国の統治について規定しているのだろうか。**		＜第3節のねらい＞ 我が国では日本国憲法が最高法規であり，日本国憲法に基づく政治によって，国民の自由と権利が守られていることを理解させる。		**＜第3節の評価規準＞** ①収集した資料の中から，我が国の政治が日本国憲法に基づいて行われていることについての学習に役立つ情報を適切に選択して，読み取ったり図表にまとめたりしている。 ②我が国の政治が日本国憲法に基づいて行われていることの意義について，対立と合意，効率と公正，個人の尊重と法の支配，民主主義などの見方・考え方を働かせて，多面的・多角的に考察し，表現している。 ③日本国憲法が国の統治について規定していることについて，主体的に学習問題を追究し，解決しようとしている。

３年２学期	**1　権力の分立** **◎立法，行政，司法の三権は，どのようなしくみで抑制と均衡を取っているのだろうか。**	日本の三権はどのように分立しているのかを理解する。	p60図３を活用して，主権者として三権が国民のために機能しているかどうかを監視するしくみを理解させる。	①三権分立のしくみや意義について理解し，その知識を身につけている。 ②三権の抑制と均衡を機能させるために国民がなすべきことを考え，自分の意見を表現している。
	2　憲法の保障・改正と私たち **◎日本国憲法では，憲法の保障と改正についてどのように定めているのだろうか。** **◇節の問いを振り返ろう◇　日本国憲法で規定されてる国の統治に関する大切な考え方を，「権力分立」という言葉を用いて説明してみよう。**	日本国憲法では，憲法保障と憲法改正をどのように規定しているかを理解する。 ◇日本国憲法では，権力分立をどのように規定しているのを理解する。	日本国憲法における憲法保障や憲法改正に関する規定を確認させ，憲法改正のための国民投票の具体的な手続きが法律によって定められていることを理解させる。 ◇図３を活用して，国会・内閣・裁判所がそれぞれの権力濫用を抑制し合っていることを理解させる。	①日本国憲法から憲法保証や憲法改正について定めている条文を見つけだしまとめている。
	＊章の学習を振り返ろう **第2部1章** **日本国憲法** **■章の問い■　政治が日本国憲法に基づいて行われていることにはどのような意義があるのだろうか。**	章の学習で得た知識を確認し，章の問いへの答えを多面的・多角的に考える。	対立と合意，効率と公正，個人の尊重と法の支配，民主主義などの見方・考え方を働かせて，政治が日本国憲法に基づいて行われていることの意義について，多面的・多角的に考えさせる。	**＜第2部第1章の評価規準＞** ①人間の尊重についての考え方を，基本的人権を中心に深め，法の意義を理解している。 ①民主的な社会生活を営むためには，法に基づく政治が大切であることを理解している。 ①日本国憲法が基本的人権の尊重，国民主権及び平和主義を基本的原則としていることについて理解している。 ①日本国及び日本国民統合の象徴としての天皇の地位と天皇の国事に関する行為について理解している。 ②対立と合意，効率と公正，個人の尊重と法の支配，民主主義などに着目して，我が国の政治が日本国憲法に基づいて行われていることの意義について多面的・多角的に考察し，表現している。 ③人間の尊重についての考え方や日本国憲法の基本的原則などについて，現代社会に見られる課題の解決を視野に主体的に社会に関わろうとしている。
第2章 **民主政治** **■章の問い■　民主政治を発展させるためには，どのようなことが必要なのだろうか。**	＜第2部第2章のねらい＞ 対立と合意，効率と公正，個人の尊重と法の支配，民主主義などに着目して，課題を追究したり解決したりする活動を通して，次の資質・能力を身に付けることができるようにさせる。 ①国会を中心とする我が国の民主政治の仕組みのあらましや政党の役割，議会制民主主義の意義，多数決の原理とその運用の在り方，国民の権利を守り社会の秩序を維持するために，法に基づく公正な裁判の保障があること，地方自治の基本的な考え方について理解させる。 ②民主政治の推進と，公正な世論の形成や選挙など国民の政治参加との関連について多面的・多角的に考察，構想し，表現させる。 ③民主政治と政治参加について，現代社会に見られる課題の解決を視野に主体的に社会に関わろうとさせる。		**＜第2部第2章の評価規準＞** ①国会を中心とする我が国の民主政治の仕組みのあらましや政党の役割を理解している。 ①議会制民主主義の意義，多数決の原理とその運用の在り方について理解している。 ①国民の権利を守り，社会の秩序を維持するために，法に基づく公正な裁判の保障があることについて理解している。 ①地方自治の基本的な考え方について理解している。その際，地方公共団体の政治の仕組み，住民の権利や義務について理解している。 ②対立と合意，効率と公正，個人の尊重と法の支配，民主主義などに着目して，民主政治の推進と，公正な世論の形成や選挙など国民の政治参加との関連について多面的・多角的に考察，構想し，表現している。 ③民主政治と政治参加について，現代社会に見られる課題の解決を視野に主体的に社会に関わろうとしている。
第１節 **民主政治と私たち** **◇節の問い◇　個人を尊重し，基本的人権を守る政治を実現するため，どのようなしくみがあるのだろうか。**	＜第1節のねらい＞ 個人を尊重し，基本的人権を守る政治を実現するためには，公正な世論の形成や選挙など，国民の政治参加と国民の意思を国政や地方の政治に十分反映させることが必要であることを理解させる。		**＜第1節の評価規準＞** ①国民の政治参加や国民の意思を政治に十分に反映させるしくみについての資料を適切に調べまとめている。 ②議会制民主主義を守り，発展させるための関わり方を選択・判断して，適切に表現している。 ③議会制民主主義が我が国の政治の原則であることに着目して，よりよい社会を考え学習したことを社会生活に生かそうとしている。
３年２学期	**＊学習の前に** みんなが暮らしやすい社会をつくってみよう **1　国民の願いを実現するために** **◎国民の願いを実現するためには，どのようなしくみで決めていけばよいのだろうか。**	国民の願いを実現するために，国会はどのような役割を果たしているのかを考える。	国民の願いが実現されたｐ68「肝炎患者を救うために」の事例から，国会の役割を考えさせる。	②国民の願いに沿った政治を実現するために，国会が果たす役割を多面的・多角的に考察し，自分の言葉で説明している。
	2　世論とマスメディア **◎政治においてマスメディアは私たちとどのように関わっているのだろうか。**	政治においてマスメディアは，私たちとどのようにかかわっているのかを考える。	テレビや新聞だけでなく，近年，インターネットの普及で，ホームページやソーシャルメディアを利用する政治家が増えていることを理解させる。	①ｐ71，72「新聞について知ろう」を活用して，複数の新聞の同じできごとの記事を比較し，新聞社による見出しや書き方の違いを読み取りまとめている。
	3　政党の役割 **◎政党は政治においてどのような役割を果たしているのだろうか。**	政党は政治においてどのような役割を果たしているのかを考える。	p73図１と学習時点での政党を比較することを通して，政党の変化に目を向けさせる。	①政党の活動について報じた新聞記事やネットのホームページなどを収集し，与党の記事と野党の記事を適切に選択して分類・整理している。 ②政党が政治に果たす役割について，多面的・多角的に考察し，表現しようとしている。
	4　選挙制度とその課題 **◎国の政治において，選挙はどのように行われているのだろうか。** **◇節の問いを振り返ろう◇　個人を尊重し，基本的人権を守る政治を実現するために必要だと思うしくみを一つ取り上げ，理由とともに説明してみよう。**	日本の政治において，選挙はどのように行われているかを理解する。 ◇個人を尊重し，基本的人権を守る政治を実現するための様々なしくみを理解する。	選挙権年齢が18歳以上に拡大されたことを踏まえて，投票についての意欲を高め，現行の選挙制度のしくみや課題について理解させる。 ◇国民が政治に参加するための方法を理解させ，政治参加への意欲を高めさせる。	①様々な資料から選挙区制と比例代表制の違いを読み取ったり図表にまとめたりして，現行の選挙制度のしくみや課題について理解し，その知識を身につけている。
第２節 **国の政治のしくみ** **◇節の問い◇　国会，内閣，裁判所は，国民主権を守るために，どのような役割を果たすべきなのだろうか。**	＜第2節のねらい＞ 国会を中心とする我が国の民主政治のしくみのあらましや政党の役割，法に基づく公正な裁判の保障について理解させる。		**＜第2節の評価規準＞** ①国の政治のしくみに関する資料をさまざまな情報手段を活用して収集し，有用な情報を適切に選択して，読み取ったり図表などにまとめたりしている。 ②国会，内閣，裁判所の国民主権を守るための役割と課題について，多面的・多角的に考察し，その過程や結果を適切に表現している。 ③国の政治のしくみについて，主体的に問題解決しようとしたり，よりよい社会を考え学習したことを社会生活に生かそうとしている。

３年２学期	**１　国会の役割としくみ** **◎国会はどのような仕事を，どのようなしくみで行っているのだろうか。**	国会はどのような仕事を，どのようなしくみで行っているのかを理解する。	歴史的分野の学習成果を生かして，p77図２で取りあげている人物の活躍を振り返らせ，国会について関心をもたせる。	①国会のおもな仕事としくみについて理解し，その知識を身につけている。 ②国会で二院制や衆議院の優越が取り入れられている理由を考え，自分の言葉で説明している。
	２　国会の現状と課題 **◎国会は，法律の制定においてどのような課題を抱えているのだろうか。**	国会は，法律の制定においてどのような課題を抱えているかを考える。	p79，80「法律ができるまで」を活用して，法律の成立までの流れを時系列で確認させ，法律制定のしくみを臨場感をもって理解させる。	①法律制定のしくみや法律を制定する上で国会が抱える課題について理解し，その知識を身につけている。 ②「法律ができるまで」の事例から，法律が改正される過程を読み取り，法律制定のしくみについて自分の言葉で説明している。
	３　内閣の役割としくみ **◎国民の要望を実現するために，内閣はどのような役割を果たしているのだろうか。**	国民の要望を実現するために，内閣はどのような役割を果たしているのかを理解する。	p81「内閣総理大臣のある１日」を活用して，内閣総理大臣の責任の重さに気付かせる。	①議院内閣制のしくみや内閣の役割について理解し，その知識を身につけている。 ②p82図４と図５を比較し，日本の議院内閣制の特色について多面的・多角的に考察し，表現している。
	４　行政の役割と課題 **◎現在の行政はどのような課題を抱えているのだろうか。**	現在の行政はどのような課題を抱えているのかを理解する。	p84「民家に有料で泊まる」を活用して，規制緩和が進められていることについて関心をもたせる。	②ｐ84公民プラスを活用して，行政改革や規制緩和が進められている背景を多面的・多角的に考察し，表現している。 ③身近な生活の中から国の行政の仕事を見つけ出し，図２の行政機関に分類している。
	５　私たちの生活と裁判 **◎裁判は私たちの生活でどのような役割を果たしているのだろうか。**	裁判は私たちの生活のなかでどのような役割を果たしているのかを理解する。	p88図４を活用して，裁判官，検察官，弁護士の具体的なはたらきに着目させ，民事裁判と刑事裁判の違いを理解させる。	①裁判のしくみや役割，民事裁判と刑事裁判の違いについて理解し，その知識を身につけている。 ③具体的な事例をもとに，裁判についての関心を高め，裁判を身近なものとしてとらえている。
	６　人権を守る裁判とその課題 **◎裁判ではどのように人権が守られているのだろうか。** **◇節の問いを振り返ろう◇　国会，内閣，裁判所の役割について，それぞれ「国民」という言葉を用いて説明してみよう。**	裁判ではどのように人権が守られているのかを理解する。 ◇国会，内閣，裁判所は国民に対して，どのような役割を果たしているかを考える。	p. 90公民プラスを活用して，裁判員裁判の流れを読み取らせ，裁判に国民が参加していることに目を向けさせる。 ◇国会，内閣，裁判所が果たす役割について，身近な生活の中から具体的事例を取り上げて考えさせる。	①司法制度改革が進められている背景を調べ，日本の司法制度の課題を整理している。 ②裁判員裁判の事例をもとに，国民が裁判に参加することの意義や裁判員制度の課題について考え，自分の意見を表現している。
	＊アクティブ公民 **裁判の判決を考えよう**	実際に起きた事件を題材に，裁判員として自分なりの判決を考える。	弁護人と検察官の主張をもとに，刑法のどの条文を適用させるかを適切に判断させる。	②事件の状況，証人の証言をもとに，弁護人と検察官の主張を整理して，刑法のどの規定を適用するかについて，多面的・多角的に考え，主文と判決理由を説明している。 ③裁判員制度が導入されていることを踏まえて，裁判に積極的にかかわろうとしている。
第3節 **地方自治と私たち** **◇節の問い◇　地方自治や民主政治を発展させるために，私たちはどのような政治参加をすべきなのだろうか。**		**＜第3節のねらい＞** 地方自治の基本的な考え方について理解し，地方自治を発展させるために，私たちはどのように地方自治体の政治に参加すべきかについて，対立と合意，効率と公正などの見方・考え方を働かせて，多面的・多角的に考察，構想し，表現させる。		**＜第3節の評価規準＞** ①地方公共団体の政治のしくみに関する資料をさまざまな情報手段を活用して収集し，有用な情報を適切に選択して，読み取ったり図表などにまとめたりしている。 ②地方自治体の政治と政治参加に関する課題を見いだし，対立と合意，効率と公正などの見方・考え方を働かせて，多面的・多角的に考察，構想し，表現している。 ③身近な事例から地方自治体の政治に対する関心を高め，民主政治の基本的な考え方とそれに基づく地方公共団体の政治のしくみについて，意欲的に追究している。
３年２学期	**１　地方自治と地方公共団体** **◎日本国憲法では，地方自治についてどのように定めているのだろうか。**	日本国憲法では，地方自治についてどのように定めているのかを理解する。	p40図１を活用して，地方公共団体の仕事に関心をもたせ，これらが自分たちの生活と密接に結びついていることを理解させる。	①地方分権の動きに向けての具体的な取り組みの事例を収集し，地方分権のメリットとデメリットを分類・整理している。 ②身近な地域の具体的な事例をもとに，地方公共団体の仕事が私たちの生活とどのように結びついているかを考え，自分の言葉で表現している。
	２　地方公共団体のしくみと政治参加 **◎私たちが住む地方公共団体は，どのようなしくみで仕事を行っているのだろうか。**	地方公共団体は，どのようなしくみで仕事を行っているのかを理解する。	p95図１の議会活性化の事例について，大洗町議会が傍聴席を満席にしようと努力している理由を考えさせる。	①地方の政治と住民との関係を理解し，地方公共団体のしくみについての知識を身につけている。 ②地方の政治で，住民に直接請求権が認められている理由を考え，自分の言葉で説明している。
	３　地方財政の現状と課題 **◎地方公共団体の財政はどのような状況になっており，またどのような課題があるのだろうか。**	地方公共団体の財政はどのような状況になっており，またどのような課題があるのかを考える。	自分が住んでいるまちがどのような公共サービスにお金を使っているかを調べp98図３と比較することで，自分が住んでいるまちの課題に目を向けさせる。	①自分が住んでいるまちの歳出・歳入など，自分たちのまちの財政に関する情報を収集・整理している。
	４　私たちと政治参加 **◎私たちは，どのような方法で政治に参加することができるのだろうか。** **◇節の問いを振り返ろう◇　地方自治や民主政治を発展させるために，私たちがすべき政治参加ににについて，今できることと，将来すべきことに分けて構想してみよう。**	国民が政治に参加する方法について理解する。 ◇地方自治や民主政治を発展させるためには，国民の政治参加が大切であること理解させる。	若者の投票率が低い現状に目を向けさせ，若者の積極的な政治参加の大切さを認識させる。 ◇中学生による請願活動や住民投票などの事例をもとに，中学生なりの政治参加の方法を考えさせる。	②若者の意見を政治に反映させるためにはどうしたらよいかを考え，自分の言葉で説明している。
	＊アクティブ公民 **自分が住むまちのまちづくりを考えよう**	自分が住むまちのまちづくりを考える。	話し合いで出た意見をＫＪ法で分析・整理し，よりよいまちづくりのための予算案を考えさせる。	②自分が住むまちをよりよくするための話し合いで出た意見を，効率，公正などの見方・考え方を働かせて選択・判断して，その実現のための予算案を多面的・多角的に考察，構想し，表現している。
	＊章の学習を振り返ろう **第2部2章** **民主政治** **■章の問い■　民主政治を発展させるためには，どのようなことが必要なのだろうか。**	章の学習で得た知識を確認し，章の問いへの答えを多面的・多角的に考える。	対立と合意，効率と公正，個人の尊重と法の支配，民主主義などの見方・考え方を働かせて，民主政治を発展させるために必要なことについて，多面的・多角的に考えさせる。	**＜第2部第2章の評価規準＞** ①国会を中心とする我が国の民主政治の仕組みのあらましや政党の役割を理解している。 ①議会制民主主義の意義，多数決の原理とその運用の在り方について理解している。 ①国民の権利を守り，社会の秩序を維持するために，法に基づく公正な裁判の保障があることについて理解している。 ①地方自治の基本的な考え方について理解している。その際，地方公共団体の政治の仕組み，住民の権利や義務について理解している。 ②対立と合意，効率と公正，個人の尊重と法の支配，民主主義などに着目して，民主政治の推進と，公正な世論の形成や選挙など国民の政治参加との関連について多面的・多角的に考察，構想し，表現している。 ③民主政治と政治参加について，現代社会に見られる課題の解決を視野に主体的に社会に関わろうとしている。
第３部　経済				

第１章 **市場経済** **■章の問い■　私たちの社会を豊かにするためには，経済にはどのような働きが求められるのだろうか。**	＜第3部第1章のねらい＞ 対立と合意，効率と公正，分業と交換，希少性などに着目して，課題を追究したり解決したりする活動を通して，次の資質・能力を身に付けることができるようにさせる。 ①身近な消費生活を中心に経済活動の意義，市場経済の基本的な考え方，現代の生産や金融などの仕組みや働き，勤労の権利と義務，労働組合の意義及び労働基準法の精神について理解させる。 ②個人や企業の経済活動における役割と責任，社会生活における職業の意義と役割及び雇用と労働条件の改善について多面的・多角的に考察し，表現させる。 ③市場の働きと経済について，現代社会に見られる課題の解決を視野に主体的社会に関わろうとさせる。		**＜第3部第1章の評価規準＞** ①身近な消費生活を中心に経済活動の意義について理解している。 ①市場経済の基本的な考え方について理解している。その際，市場における価格の決まり方や資源の配分について理解している。 ①現代の生産や金融などの仕組みや働きを理解している。 ①勤労の権利と義務，労働組合の意義及び労働基準法の精神について理解している。 ②対立と合意，効率と公正，分業と交換，希少性などに着目して，個人や企業の経済活動における役割と責任について多面的・多角的に考察し，表現している。 ②対立と合意，効率と公正，分業と交換，希少性などに着目して，社会生活における職業の意義と役割及び雇用と労働条件の改善について多面的・多角的に考察し，表現している。 ③市場の働きと経済について，現代社会に見られる課題の解決を視野に主体的社会に関わろうとしている。
第１節 **私たちの生活と経済** **◇節の問い◇　なぜ市場経済というしくみがあるのだろうか。**	＜第1節のねらい＞ 身近な消費活動を中心に，経済活動の意義を理解させるとともに，価格の働きに着目させて市場経済の基本的な考え方について理解させる。		**＜第1節の評価規準＞** ①市場経済においては，価格には人的・物的資源を効率よく配分する働きがあることを理解し，その知識を身につけている。 ②経済活動や市場経済の意義について，多面的・多角的に考察し，その過程や結果を適切に表現している。 ③経済活動や市場経済の意義について，予想や学習計画を立てたり，見直したりして，主体的に学習問題を解決しようとしている。
３年２学期 **＊学習の前に** **身の回りの暮らしと経済について見てみよう** **１　経済活動とお金の役割** **◎私たちの生活の中で，経済活動はどのような役割を果たしているのだろうか。**	私たちの生活の中で，経済活動はどのような役割を果たしているかを考える。	経済活動は生活のための手段であり，生活を豊かにする活動であることを理解させる。	①経済活動の役割を理解し，その知識を身につけている。 ②p109，110「私たちにパンが届く工程の例」から貨幣とモノ・サービスのやりとりを読み取り，経済活動の役割について，多面的・多角的に考察し，表現している。
＊アクティブ公民 **あなたが無人島に漂着したら？**	無人島での生活をもとに，経済のしくみを理解する。	無人島に一人で生活していた時と他の人と共同で生活したときの違いに目を向けさせ，分業と交換について考えさせる。	②経済は分業と交換によって成り立っていることについて，多面的・多角的に考察し，その過程や結果を適切に表現している。
２　お金の使い方と経済の考え方 **◎経済活動における「資源の効率的な配分」とはどのようなことなのだろうか。**	経済活動において「資源の効率的な配分」とはどのようなことかを理解する。	p114公民プラスの『アリとキリギリス』の選択をもとに，経済活動における選択と資源の効率的な配分について，希少性に着目して理解させる。	①日常生活の中から，資源の効率的な配分を行っている事例を見つけ出し，その事例に関する資料を収集し，適切に選択して，読み取ったりまとめたりしている。 ②『アリとキリギリス』の選択について，どんな条件を重視しているかを分析し，それぞれの選択の理由を自分の言葉で説明している。
３　価格の働きと経済 **◎市場経済とは，どのようなしくみで成り立っているのだろうか。** **◇節の問いを振り返ろう◇　市場経済のしくみがある理由を，「分業」と「効率」という言葉を用いて説明してみよう。**	市場経済とはどのようなしくみで成り立っているかを理解する。 ◇市場経済のしくみによって，商品が効率的に配分されていることについて理解する。	価格には，生産・消費について資源を効率よく配分するはたらきがあることを理解させる。 ◇市場経済においては，価格には人的・物的資源を効率よく配分する働きがあることを理解させる。	①市場における価格の決まり方や資源の配分について理解し，その知識を身につけている。 ②p116図４のグラフから市場価格決定のしくみについて，多面的・多角的に考察し，表現している。
第２節 **消費者と経済** **◇節の問い◇　経済活動を活発にしていくために，私たち消費者はどのような役割や責任を果たすべきなのだろうか。**	＜第2節のねらい＞ 経済活動を活発にしていくための消費者の役割と責任を理解させるとともに，消費者の保護など消費者をめぐる問題について，政府の取り組みなどを理解させる。		**＜第2節の評価規準＞** ①国や地方公共団体は消費者の権利の尊重およびその自立の支援のために，消費者政策を推進する役割を担っていることを理解し，その知識を身につけている。 ②経済活動を活発にするための消費者の役割や責任について，多面的・多角的に考察し，その過程や結果を適切に表現している。 ③個人の消費生活に関する諸問題に着目し，主体的に問題解決しようとしたり，学習したことを自らの消費生活に生かそうとしている。
３年２学期 **１　家計の収入と支出** **◎経済のなかで，家計にはどのような収入と支出があるのだろうか。**	家計の支出においてはどのような選択が必要かを考える。	p117図１を活用して，自分の家の消費支出や貯蓄と比較することを通して，何を重視して支出しているかが家庭によって異なることに気付かせ，消費への関心をもたせる。	②家計の支出において何を重視するかや支払い方法についての適切な選択について，多面的・多角的に考察し，表現している。
２　消費生活と流通の関わり **◎企業が生産した商品は，どのようにして私たちの手もとに届けられているのだろうか。**	企業が生産した商品は，どのようにして私たちの手もとに届けられているのかを理解する。	販売形態が多様化したことで，消費の選択肢が増えていることに気付かせ，適切な選択をすることへの関心をもたせる。	①モノやサービスの販売形態が多様化してきている現状とその特色をさまざまな資料を収集し，適切に選択して，読み取ったりまとめたりしている。 ②消費者として，広告について注意しなければならない理由を考察し，自分の言葉で説明している。
３　消費者問題と政府の取り組み **◎私たち消費者の権利は，政府によってどのように支えられているのだろうか。** **◇節の問いを振り返ろう◇　経済活動において消費者が果たす役割や責任について，「自立」という言葉を用いて説明してみよう。**	消費者の権利は，政府によってどのように支えられているのかを理解する。 ◇経済活動において，消費者はどのような役割や責任を果たしているかを考える。	具体的な事例を通して，消費者を保護する政府の取り組みについて理解させるとともに，消費者の自立が必要あることに気付かせる。 ◇消費者は様々なモノやサービスを購入・消費することによって，豊かな生活や企業に利益をもたらしていることを理解させる。	①消費者をめぐる問題に対する消費者保護行政のさまざまな取り組みについて理解し，その知識を身につけている。
＊アクティブ公民 **一人暮らしにかかるお金を考えよう**	一人暮らしを例として，消費において重視する選択の規準を考える。	限りない欲求に対して，資源が不足した状態にある希少性に着目して考えさせる。	②住む場所，生活にかかる支出の選択について，希少性に着目して，多面的・多角的に考察し，表現している。
第３節 **企業と経済** **◇節の問い◇　経済を活発にしていくために，企業はどのような役割や責任を果たすべきなのだろうか。**	＜第3節のねらい＞ 現代の生産や金融のしくみや働きを理解させるとともに，経済を活発にしていくための企業の役割と責任について考えさせる。その際，社会生活における職業の意義と役割および雇用と労働条件の改善について，勤労の権利と義務，労働組合の意義および労働基準法の精神と関連づけて考えさせる。		**＜第3節の評価規準＞** ①企業の生産活動や金融に関する資料を，さまざまな情報手段を活用して収集し，有用な情報を適切に選択して，読み取ったり，図表などにまとめたりしている。 ②企業の生産活動や金融にかかわる様々な事象から課題を見いだし，対立と合意，効率と公正などの見方・考え方を働かせて，多面的・多角的に考察し，その過程や結果を適切に表現している。 ③企業の生産活動や金融に関する諸問題について，主体的に問題解決しようとしたり，学習したことを社会生活に生かそうとしている。

３年２学期	**1　私たちの生活と企業** **◎企業は経済活動においてどのような役割を果たし，どのような目的で活動しているのだろうか。**	企業は経済活動においてどのような役割を果たし，どのような目的で活動しているのかを考える。	企業の役割について，利潤の追求のみならず，雇用の提供や社会的責任を果たすことなど，多様な役割があることを理解させる。	②企業の活動と私たちの生活とのつながりについて，分業と交換の見方・考え方を働かせて，多面的・多角的に考察し，表現している。
	2　企業活動のしくみ **◎企業の活動はどのようなしくみで行われているのだろうか。**	企業の活動はどのようなしくみで行われているのかを理解する。	「パン屋を起業しよう②」を活用して，店舗をどのような形態にするかについて考えさせる。	①企業活動の目的や企業の種類，株式会社のしくみについて理解し，その知識を身につけている。 ②日本経済における中小企業やベンチャー企業の役割について，多面的・多角的に考察し，表現している。
	3　金融のしくみと働き **◎銀行などの金融機関は，私たちの生活においてどのような役割を果たしているのだろうか。**	銀行などの金融機関は，私たちの生活の中でどのような役割を果たしているかを理解する。	「パン屋を起業しよう③」を活用して，起業を支えるという金融の働きについて理解させる。	①直接金融と間接金融を明確にして，金融機関と家計や企業との関係を図表などにまとめている。
	4　企業競争の役割 **◎企業競争は，私たちの生活にどのような影響をもたらしているのだろうか。**	企業競争は，私たちの生活にどのような影響をもたらすかを理解する。	「パン屋を起業しよう④」を活用して，企業が競争を通して発展していくことを理解させ，独占や寡占がもたらす弊害について気付かせる。	①企業競争の意義や，健全な企業競争を維持するために行政機関が果たしている役割について理解し，その知識を身につけている。 ②p135「すし業界の激しい競争」や「パン屋を起業しよう④」を活用して，企業競争が生活に及ぼす影響について，多面的・多角的に考察し，表現している。
	5　働くことの意義と労働者の権利 **◎私たちがよりよい生活を実現するために，労働者の権利は法律によってどのように保障されているのだろうか。**	労働者の権利は法律によってどのように保障されているのかを理解する。	「パン屋を起業しよう⑤」を活用して，必要な人材を確保するための求人募集方法について，企業経営者の立場から考えさせる。	①労働者の権利および労働者を守るための法律の内容を理解し，その知識を身につけている。 ②働くことの意義に着目して，労働者の権利が保障されている理由を考え，自分の言葉で説明している。
	6　労働環境の変化と私たち **◎日本の労働環境は，どのように変化してきたのだろうか。**	日本の労働環境はどのように変化してきたのかを理解する。	「パン屋を起業しよう⑥」を活用して，企業と労働者の双方にとって適切な労働環境について考えさせる。	②非正規雇用に関する資料を収集し，非正規雇用の問題点について整理し，同一労働同一賃金の導入の意義について，多面的・多角的に考察し，表現している。
	7　企業の社会的責任 **◎現代の社会において，企業にはどのような責任が求められているのだろうか。** **◇節の問いを振り返ろう◇　経済活動において企業が果たす役割や責任について，「消費者」「従業員」「国際社会」という言葉を用いて説明してみよう。**	現代社会の中で，企業にはどのような責任が求められているかを考える。 ◇経済活動において，企業はどのような役割や責任を果たしているのかを理解する。	「パン屋を起業しよう⑦」を活用して，企業の社会的責任としての食品ロスの削減について考えさせる。 ◇企業の役割や責任について，「社会的責任」「市場への責任」「国際社会への責任」の視点から理解させる。	①身のまわりの「環境に優しい」製品を見つけたり，新聞などから企業の社会貢献活動の事例を見つけたりして，図表などにまとめている。 ②企業に求められている社会的責任，市場への責任，国際社会への責任について，多面的・多角的に考察し，表現している。
	＊アクティブ公民 **企業の企画書を完成させよう**	自分が起こしたい企業の企画書を完成させる。	「パン屋を起業しよう①～⑦」を踏まえて，切実感をもって起業したい会社の企画書を考えさせる。	①起業のための企画書づくりについて，有用な情報を適切に選択して，読み取ったり図表にまとめたりしている。
第4節 **これからの日本経済** **◇節の問い◇　世界経済の変動の中で，日本経済にはどのようなことが求められているのだろうか。**		＜第4節のねらい＞ 「現代日本の特色」についての学習と関連付けながら，グローバル化の進行により，日本経済が世界経済の影響を強く受けていることを理解させるとともに，これからの日本経済の発展のために必要なことを多面的・多角的に考察し，表現させる。		**＜第4節の評価規準＞** ①日本経済における世界経済の影響に関する資料を，さまざまな情報手段を活用して収集し，有用な情報を適切に選択して，読み取ったり図表などにまとめたりしている。 ②日本経済の発展のためにこれからの日本企業に求められることについて，多面的・多角的に考察し，表現している。 ③グローバル化が進行する中，日本経済の発展について，主体的に問題解決しようとしたり，学習したことを社会生活に生かそうとしている。
３年２学期	**1　景気の変動とその影響** **◎景気の変動は企業や私たちの生活にどのような影響を与えているのだろうか。**	景気の変動とはどのようなもので，企業はそれにどのように対応しているのかを理解する。	経済は景気変動を繰り返すことを理解させるとともに，不況時の企業努力について理解させる。	①景気変動による企業や私たちの生活への影響について理解し，その知識を身につけている。 ②不況のときにとるべき企業の対応について，多面的・多角的に考察し，表現している。
	2　日本銀行と金融政策 **◎日本銀行は日本経済の中でどのような役割を担っているのだろうか。**	日本銀行は，日本経済の中でどのような役割を果たしているかを理解する。	日本銀行は近年のデフレ対策として，金融緩和を続けていることを踏まえ，日本経済の現状に目を向けさせる。	①p148図３から日本銀行と一般の銀行，企業，家計，政府との関係を読み取り，日本銀行の中央銀行としての役割について理解し，その知識を身につけている。 ②デフレ対策としての金融緩和が家計や企業に与える影響について，多面的・多角的に考察し，表現している。
	3　グローバル化と日本経済 **◎グローバル化の進行は企業や私たちの生活にどのような影響を与えているのだろうか。**	経済のグローバル化の進行は，企業や私たちの生活にどのような影響を与えているかを考える。	海外の商品に対する競争力を確保するための日本企業の対策を考えさせる。	①経済のグローバル化がもたらす企業や私たちの生活への影響を，メリットとデメリットに分類して整理している。
	4　これからの日本の経済と私たち **◎日本の経済において，将来に向けてどのような動きが見られているのだろうか。** **◇節の問いを振り返ろう◇　世界経済が変動するなかで，日本が経済発展していくために重要だと思う取り組みを一つ取り上げ，理由とともに説明してみよう。**	これからの日本の産業が成長していくためには，どのような取り組みが必要かを考える。 ◇世界経済が変動する中で，日本経済が発展していくための取り組みを考える。	貿易の自由化が進む中，企業がなすべき経営努力を農業分野に目を向けて考えさせる。 ◇情報化，グローバル化，少子高齢化といった現代社会の特色を踏まえて，ｐ153「よりよい社会を目指して」を参考に，具体的な事例を取り上げて説明させる。	②経済活動のデジタル化やＡＩの普及などが進むこれからの社会において，日本の産業が成長していくために必要な取り組みを考察し，表現している。
	＊章の学習を振り返ろう **第3部1章** **市場経済** **■章の問い■　私たちの社会を豊かにするためには，経済にはどのような働きが求められるのだろうか。**	章の学習で得た知識を確認し，章の問いへの答えを多面的・多角的に考える。	対立と合意，効率と公正，分業と交換，希少性などの見方・考え方を働かせて，社会を豊かにするために経済に求められる働きについて，多面的・多角的に考えさせる。	**＜第3部第1章の評価規準＞** ①身近な消費生活を中心に経済活動の意義について理解している。 ①市場経済の基本的な考え方について理解している。その際，市場における価格の決まり方や資源の配分について理解している。 ①現代の生産や金融などの仕組みや働きを理解している。 ①勤労の権利と義務，労働組合の意義及び労働基準法の精神について理解している。 ②対立と合意，効率と公正，分業と交換，希少性などに着目して，個人や企業の経済活動における役割と責任について多面的・多角的に考察し，表現している。 ②対立と合意，効率と公正，分業と交換，希少性などに着目して，社会生活における職業の意義と役割及び雇用と労働条件の改善について多面的・多角的に考察し，表現している。 ③市場の働きと経済について，現代社会に見られる課題の解決を視野に主体的社会に関わろうとしている。

第2章 財政 **■章の問い■　国民の生活と福祉の向上を図るために，政府はどのような役割を果たすべきなのだろうか。**		＜第3部第2章のねらい＞ 対立と合意，効率と公正，分業と交換，希少性などに着目して，課題を追究したり解決したりする活動を通して，次の資質・能力を身に付けることができるようにさせる。 ①社会資本の整備，公害の防止など環境の保全，少子高齢社会における社会保障の充実・安定化，消費者の保護について，それらの意義を理解する。また，財政及び租税の意義，国民の納税の義務について理解させる。 ②市場の働きに委ねることが難しい諸問題に関して，国や地方公共団体が果たす役割について多面的・多角的に考察，構想し，表現させる。また，財政及び租税の役割について多面的・多角的に考察し，表現させる。 ③国民の生活と政府の役割について，現代社会に見られる課題の解決を視野に主体的に社会に関わろうとさせる。		**＜第3部第2章の評価規準＞** ①社会資本の整備，公害の防止など環境の保全，少子高齢社会における社会保障の充実・安定化，消費者の保護について，それらの意義を理解している。 ①財政及び租税の意義，国民の納税の義務について理解している。 ②対立と合意，効率と公正，分業と交換，希少性などに着目して，市場の働きに委ねることが難しい諸問題に関して，国や地方公共団体が果たす役割について多面的・多角的に考察，構想し，表現している。 ②対立と合意，効率と公正，分業と交換，希少性などに着目して，財政及び租税の役割について多面的・多角的に考察し，表現している。 ③国民の生活と政府の役割について，現代社会に見られる課題の解決を視野に主体的に社会に関わろうとしている。
３年２学期	**1　私たちの生活と財政** **◎市場経済において，政府はどのような役割を果たしているのだろうか。**	市場経済において，政府はどのような役割を果たしているのかを考える。	p158公民プラスを活用して，救急サービスの有料化に対する賛否の意見をもとに，財政の役割について考えさせる。	②政府が提供するモノやサービスと民間企業が提供するモノやサービスとを比較し，経済活動における財政の役割について，多面的・多角的に考察し，表現している。
	2　国の支出と収入 **◎政府はどのようにお金を集め，どのようなことに使っているのだろうか。**	政府はどのようにお金を集め，どのようなことに使っているのかを理解する。	日本の歳入と歳出の現状や特色を踏まえ，効率と公正の視点から，よりよい税制度のあり方を考えさせる。	②ｐ160公民プラスを活用して，累進課税を強化するという考え方の是非を効率と公正に着目して分析し，税制度のあり方について，多面的・多角的に考察し，表現している。
	3　社会資本の役割と環境への取り組み **◎私たちの生活をよりよくするために，国や地方公共団体はどのような社会資本を整備しているのだろうか。**	私たちの生活をよりよくするために，国や地方公共団体はどのような社会資本を整備しているのかを理解する。	身近な生活の中ら，道路，下水道，公園，文化施設などを取りあげ，社会資本によって私たちの生活が支えられていることに気付かせる。	②公共事業について具体的な事例を取りあげ，対立と合意，効率と公正の視点から今後の社会資本のあり方を考え，自分の意見を表現している。
	＊アクティブ公民 **赤字バス路線に税金を使うべきか？**	赤字路線バスを巡る住民の対立からよりよい合意に至る税金の使い道を市長の立場から選択する。	採算の取れない事業から撤退し，その分採算の取れる事業に資源を配分する「効率」と，公共交通手段の確保により，どこに住んでいても公共サービスを受けることができる「公正」の見方・考え方を働かせて考えさせる。	②税金の使い方の選択について，市長の立場から効率と公正などの見方・考え方を働かせて，多面的・多角的に考察し，その過程や結果を適切に表現している。
	4　社会保障と私たちの生活 **◎日本の社会保障制度には，どのような課題があるのだろうか。**	社会保障制度にはどのようなものがあり，これからはどうあれば良いのかを考える。	少子高齢社会など現代社会の特色をふまえながら，これからの福祉社会のめざすべき方向を考えさせる。	①日本の社会保障制度の四つの柱の基本的な内容について理解し，その知識を身につけている。 ②少子高齢化が進む日本における社会保障制度の課題を見いだし，自助，共助及び公助が最も適切に組み合わされる社会保障のあり方を考え，自分の意見を表現している。
	5　これからの日本の財政 **◎少子高齢化が進むなかで，これからの日本の財政はどうあるべきなのだろうか。**	少子高齢化が進むなかで，これからの日本の財政はどうあるべきかを考える。	財政赤字の拡大や国債の大量発行といった，日本の財政が抱える課題を認識させ，これからの財政のあり方に目を向けさせる。	①「大きな政府」「小さな政府」という考え方について，それぞれのメリットとデメリットを整理しまとめている。 ②財源の確保と配分について，効率と公正，希少性に着目して多面的・多角的に考察し，表現している。
	＊章の学習を振り返ろう **第3部2章** **財政** **■章の問い■　国民の生活と福祉の向上を図るために，政府はどのような役割を果たすべきなのだろうか。**	章の学習で得た知識を確認し，章の問いへの答えを多面的・多角的に考える。	効率と公正，分業と交換，希少性などの見方・考え方を働かせて，国民の生活と福祉の向上を図るための政府の役割について，多面的・多角的に考えさせる。	**＜第3部第2章の評価規準＞** ①社会資本の整備，公害の防止など環境の保全，少子高齢社会における社会保障の充実・安定化，消費者の保護について，それらの意義を理解している。 ①財政及び租税の意義，国民の納税の義務について理解している。 ②対立と合意，効率と公正，分業と交換，希少性などに着目して，市場の働きに委ねることが難しい諸問題に関して，国や地方公共団体が果たす役割について多面的・多角的に考察，構想し，表現している。 ②対立と合意，効率と公正，分業と交換，希少性などに着目して，財政及び租税の役割について多面的・多角的に考察し，表現している。 ③国民の生活と政府の役割について，現代社会に見られる課題の解決を視野に主体的に社会に関わろうとしている。
第4部　国際				
第1章 国際社会 **■章の問い■　世界平和と人類の福祉の増大を実現するために，国際社会はどのようなことができるのだろうか。**		＜第4部第1章のねらい＞ 対立と合意，効率と公正，協調，持続可能性などに着目して，課題を追究したり解決したりする活動を通して，次の資質・能力を身に付けることができるようにさせる。 ①世界平和の実現と人類の福祉の増大のためには，国際協調の観点から，国家間の相互の主権の尊重と協力，各国民の相互理解と協力及び国際連合をはじめとする国際機構などの役割が大切であることを理解させる。その際，領土（領海，領空を含む。），国家主権，国際連合の働きなど基本的な事項について理解させる。また，地球環境，資源・エネルギー，貧困などの現代社会に見られる諸課題の解決のために経済的，技術的な協力などが大切であることを理解させる。 ②日本国憲法の平和主義を基に，我が国の安全と防衛，国際貢献を含む国際社会における我が国の役割について，多面的・多角的に考察，構想し，表現させる。 ③世界平和と人類の福祉の増大について，現代社会に見られる課題の解決を視野に主体的に社会に関わろうとさせる。		**＜第4部第1章の評価規準＞** ①世界平和の実現と人類の福祉の増大のためには，国際協調の観点から，国家間の相互の主権の尊重と協力，各国民の相互理解と協力及び国際連合をはじめとする国際機構などの役割が大切であることを理解している。その際，領土（領海，領空を含む。），国家主権，国際連合の働きなど基本的な事項について理解している。 ①地球環境，資源・エネルギー，貧困などの課題の解決のために経済的，技術的な協力などが大切であることを理解している。 ②対立と合意，効率と公正，協調，持続可能性などに着目して，日本国憲法の平和主義を基に，我が国の安全と防衛，国際貢献を含む国際社会における我が国の役割について多面的・多角的に考察，構想し，表現している。 ③世界平和と人類の福祉の増大について，現代社会に見られる課題の解決を視野に主体的に社会に関わろうとしている。
第１節 紛争のない世界へ **◇節の問い◇　国際社会においては，どのような国際協調が必要なのだろうか。**		＜第1節のねらい＞ 国際社会のおいては，国家間の相互の主権の尊重と協力，各国民の相互理解と協力および国際連合をはじめとする国際機構などの役割が大切であることを理解させる。		**＜第1節の評価規準＞** ①国際協調のあり方や国際機構の役割について理解し，その知識を身につけている。 ②国家間の相互の主権の尊重と協力，各国民の相互理解と協力について，課題を見いだし，対立と合意，効率と公正，協調，持続可能性などの見方・考え方を働かせて，多面的・多角的に考察，構想し，表現している。 ③国家間の相互の主権の尊重と協力，各国民の相互理解と協力について，主体的に問題解決しようとしたり，よりよい国際協調のあり方を考えようとしている。

3年3学期	**＊学習の前に** **「持続可能な社会」を目指していくために** **1　国家と国際社会** **◎国際社会にはどのようなルールがあるのだろうか。**	国際社会にはどのようなルールがあるのかを考える。	各国が互いに主権を認め合うことで成り立つ国際社会における国際法の意義について考えさせる。	①主権国家の定義や国どうしのルールについて理解し，その知識を身につけている。
	2　領土を巡る取り組み **◎現代の日本では，領土を巡ってどのような動きがあるのだろうか。**	現代の日本では，領土をめぐってどのような動きがあるのかを理解する。	日本の固有の領土である北方領土や竹島においては，ロシア，韓国との間で領土をめぐって未解決の問題が残されていること，尖閣諸島においては解決すべき領有権の問題が存在していないことを理解させる。	①歴史的分野の学習を生かして，北方領土，竹島，尖閣諸島についての歴史的経緯を調べ，日本の固有の領土であることを整理しまとめている。
	3　国際連合の働きとしくみ **◎国際連合は国際社会の中で，どのような役割を果たしているのだろうか。**	国際連合は国際社会の中で，どのような役割を果たしているのかを理解する。	国際連合では，集団安全保障の考えの下に，国際紛争の解決に取り組んでいることを理解させ，国際連合における日本の貢献に目を向けさせる。	①協調，持続可能性に着目して，国際連合の働きとしくみ，国際連合における日本の貢献について理解し，その知識を身につけている。
	4　現代における紛争 **◎地域紛争をなくし，平和を実現するうえで，どのような課題があるのだろうか。**	地域紛争をなくし，平和を実現するうえで，どのような課題があるのかを考える。	地理的分野や歴史的分野での学習成果を生かして，世界の各地で地域紛争が現在も続いていることに気付かせる。	①紛争が起こっている地域の現状について，具体的な事例を取り上げて，さまざまな資料を収集し選択して，読み取ったり図表などにまとめたりしている。 ②地域紛争やテロリズムの背景と再発防止の努力について，多面的・多角的に考察し，その過程や結果を適切に表現している。
	5　兵器の脅威と軍縮への努力 **◎核兵器や軍縮を巡る状況は，どのように変化してきたのだろうか。**	核兵器や軍縮を巡る状況は，どのように変化してきたかを理解する。	世界を何度も破壊できるほどの核兵器が蓄えられている現状に着目させ，軍縮に向けた動きや平和的外交の必要性に気付かせる。	②協調，持続可能性に着目し，軍縮や平和的外交の必要性について多面的・多角的に考察し，自分の言葉で説明している。
	6　グローバル化が進む国際社会 **◎現代の国際社会にはどのような課題があるのだろうか。**	現代の国際社会にはどのような課題があるのかを理解する。	南北問題や南南問題など，世界には国家間の経済格差があることを理解させる。	①おもな地域機構の役割と現状について理解し，その知識を身につけている。 ②p184図３から，地域機構ごとの経済格差の現状について，多面的・多角的に考察し，表現している。
	7　国際社会における日本の役割 **◎唯一の被爆国であり，平和主義を掲げる日本は，国際社会でどのような役割を果たすべきなのだろうか。** **◇節の問いを振り返ろう◇　国際社会において，国際協調が必要な理由を，「紛争」「平和」という言葉を用いて説明してみよう。**	唯一の被爆国であり，平和主義をかかげる日本は，国際社会でどのような役割を果たすべきかを考える。 ◇国際平和の実現のために，国際協調が必要である理由を考える。	国際情勢の変化の中，自衛隊がわが国の防衛や国際社会の平和と安全の維持のために果たしている役割を理解させる。 ◇国家間の相互の主権の尊重と協力，各国民の相互理解と協力の大切さについて理解させる。	①p185図１と図２を比較し，自衛隊による国際貢献のあり方の違いを読み取りまとめている。 ②国際平和を実現するための日本の役割について，多面的・多角的に考察，構想し，これからの日本の安全と防衛および国際貢献のあり方について自分の意見を表現している。
	＊アクティブ公民 **日本は難民をどう支援していくべきか？**	難民の受け入れや難民の支援のあり方を考える。	協調などの見方・考え方を働かせて，難民の受け入れに対して，自分の立場を明確にさせる。	②難民の受け入れについて，協調などの見方・考え方を働かせて，多面的・多角的に考察し，その過程や結果を適切に表現している。
第2節 **貧困解消と環境保全** **◇節の問い◇　地球規模の社会的課題を解決していくために，どのような国際協調が求められるのだろうか。**		＜第2節のねらい＞ 貧困，地球環境，資源・エネルギーなどの地球規模の社会課題に対して，その現状と背景を理解し，解決のために求められる国際協調について，多面的・多角的に考えさせる。		**＜第2節の評価規準＞** ①温室効果ガスの削減に向けての国際的な取り組みと課題，日本の対応について理解し，その知識を身につけている。 ②地球環境，資源・エネルギー，貧困などの課題について，対立と合意，効率と公正などの視点から多面的・多角的に考察し，その過程や結果を適切に表現している。 ③地球温暖化防止に対する国際社会とわが国の取り組みに関心をもち，自分たちが協力できることを考えようとしている。
3年3学期	**1　貧困問題とその解消** **◎世界の貧困問題の解消に向けて，国際社会ではどのような取り組みが進められているのだろうか。**	貧困問題の解消に向けて，国際社会でどのような取り組みが進められているかを理解する。	具体的な事例をもとに，政府開発援助をはじめとするわが国の国際貢献に目を向けさせる。	①貧困問題の現状や背景を踏まえて，国際社会では解消に向けてどのような取り組みが進められているかを理解し，その知識を身につけている。 ②貧困問題の解消に向けての国際社会は何をなすべきか，協調などの見方・考え方を働かせて，多面的・多角的に考察，構想し，表現している。
	2　地球規模で広がる環境問題 **◎地球温暖化防止について，国際社会ではどのような取り組みが進められているのだろうか。**	地球温暖化防止について，国際社会ではどのような取り組みが進められているのかを理解する。	温室効果ガス削減に向けての国際的な取り組みとわが国の取り組みについて理解させる。	①温室効果ガスの削減に向けての国際的な取り組みと課題，日本の対応について理解し，その知識を身につけている。
	3　資源・エネルギー問題 **◎省資源・省エネルギーのために，国際社会の中で日本はどのように取り組んでいけばよいのだろうか。**	省資源や省エネルギーに，日本はどのように取り組んでいけばよいのかを考える。	p193図１～４，p194公民プラスを活用して，再生可能エネルギーや新しいエネルギー資源に着目させ，わが国の省資源や省エネルギーのあり方を考えさせる。	②再生可能エネルギーだけでは必要な電力供給が十分ではない現状を踏まえ，資源やエネルギーの確保について，効率と公正，希少性，持続可能性などの見方・考え方を働かせて，多面的・多角的に考察，構想し，表現している。
	4　国際社会のよりよい発展 **◎「誰一人取り残さない」社会を実現していくために，国際社会はどのような取り組みをすべきなのだろうか。** **◇節の問いを振り返ろう◇　地球規模の社会的課題を解決していくために，どのような国際協調が求められているか，「持続可能性」という言葉を用いて説明してみよう。**	「誰一人取り残さない」社会を実現していくために，国際社会はどのような取り組みをすべきかを考える。 ◇地球規模の社会的課題を解決するために，どのような国際協調が求められているかを考える。	p195図１を活用して，SDGｓの「誰一人取り残さない」という理念に，わが国の国際協調の理念である「人間の安全保障」という考え方が反映されていることを理解させる。 ◇地球規模の問題に対して，国際協力の重要性が高まる中，わが国の貢献が期待されていることを理解させる。	②SDGｓを達成するために求められる国際協調のあり方について，対立と合意，協調，持続可能性などの見方・考え方を働かせて，多面的・多角的に考察，構想し，表現している。
	＊章の学習を振り返ろう **第4部1章** **国際社会** **■章の問い■　世界平和と人類の福祉の増大を実現するために，国際社会はどのようなことができるのだろうか。**	章の学習で得た知識を確認し，章の問いへの答えを多面的・多角的に考える。	対立と合意，効率と公正，希少性，協調，持続可能性などの見方・考え方を働かせて，世界平和と人類の福祉の増大を実現するために国際社会ができることについて，多面的・多角的に考えさせる。	**＜第4部第1章の評価規準＞** ①世界平和の実現と人類の福祉の増大のためには，国際協調の観点から，国家間の相互の主権の尊重と協力，各国民の相互理解と協力及び国際連合をはじめとする国際機構などの役割が大切であることを理解している。その際，領土（領海，領空を含む。），国家主権，国際連合の働きなど基本的な事項について理解している。 ①地球環境，資源・エネルギー，貧困などの課題の解決のために経済的，技術的な協力などが大切であることを理解している。 ②対立と合意，効率と公正，協調，持続可能性などに着目して，日本国憲法の平和主義を基に，我が国の安全と防衛，国際貢献を含む国際社会における我が国の役割について多面的・多角的に考察，構想し，表現している。 ③世界平和と人類の福祉の増大について，現代社会に見られる課題の解決を視野に主体的に社会に関わろうとしている。

第2章 課題の探究		＜第4部第2章のねらい＞ 持続可能な社会を形成することに向けて，社会的な見方・考え方を働かせ，課題を探究する活動を通して，次の資質・能力を身に付けることができるようにさせる。 ②私たちがよりよい社会を築いていくために解決すべき課題を多面的・多角的に考察，構想し，自分の考えを説明，論述させる。 ③私たちがよりよい社会を築いていくために解決すべき課題について，現代社会に見られる課題の解決を視野に主体的に社会に関わろうとさせる。		**＜第4部第2章の評価規準＞** ②社会的な見方・考え方を働かせ，私たちがよりよい社会を築いていくために解決すべき課題を多面的・多角的に考察，構想し，自分の考えを説明，論述している。 ③私たちがよりよい社会を築いていくために解決すべき課題について，現代社会に見られる課題の解決を視野に主体的に社会に関わろうとしている。
３年３学期	**１　持続可能な社会を目指して** **◎「持続可能な社会」の実現に向けて，私たちはどのように行動すべきなのだろうか。** **レポート作成の手順**	「持続可能な社会」の実現に向けて，私たちはどのように行動すべきかを考える。	身近な地域の生活や日本の取り組みとの関連性に着目させ，世界的な視野と地域的な視点に立って探究させる。社会科のまとめとして位置づけ，適切かつ十分な授業時数を配当する。	